

令和 6 年 9 月 30 日

所 属 長 各位

市 長 玉 木 久 登

令和 7 (2025)年度の予算編成方針について（通知）

令和 7 (2025)年度の予算編成方針を次のとおり通知する。

第 1 国の動向

日本経済は、9 月の月例経済報告によると、「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」とし、先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域の情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があるとしている。

また、経済財政運営と改革の基本方針 2024 において、来年以降に物価上昇を上回る賃金上昇が定着することを目指し、潜在成長率の引上げに取り組むため、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」及びそれを具体化する令和 5 年度補正予算並びに令和 6 年度予算及び関連する施策を迅速かつ着実に執行するとしている。そして、令和 7 年度予算については、持続的・構造的賃上げの実現、官民連携による投資の拡大、少子化対策・こども政策の抜本的強化を含めた新たなステージへの移行に向けた取組の加速など、重要政策課題に必要な予算措置を講ずるとしており、こうした国の動向について注視していく必要がある。

第 2 本市の財政状況

本市においては、これまでのふるさと納税制度への積極的な取組みと財政健全化による一定の成果により、未来に向けた投資を可能とする環境のもと、有和中学校建設や新都市公園整備など大型事業を完了し、令和 6 年度からは新病院建設や学校施設跡地の整備など重点施策の一つひとつ着実に進めているところである。

このような中、令和5年度の一般会計決算額は、歳入が228億6千万円、歳出が222億円で、歳入歳出差引から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支は約5億8千万円の黒字となったものの、単年度収支は赤字となった。また、実質公債費比率は若干増加に転じたものの、健全化判断比率は早期健全化基準を下回っている一方、経常収支比率は、市税や普通交付税の減収や扶助費や補助費等の増加により、令和4年度から10.5ポイント悪化の105.9%となり、財政構造の弾力性が低い状況であることから、「入（いり）を量（はか）り出ずるを制す」を基本とし、従来の施策を一つひとつ見直し、マイナスシーリングを視野に検討することが必要である。

また、令和7年度は、第五次長期総合計画後期基本計画の初年度となる。当該計画の基本構想における政策の大綱について、それぞれの基本方針に基づき、施策の推進に取り組み、目標達成に向けた指標数値の向上に努めるものとする。

第3 令和7年度予算編成の基本方針

令和7年度予算編成において、物価高騰など社会情勢の変化を注視しつつ、市民が安心して暮らすことはもとより、少子化対策や子育て支援を充実させるとともに、長期総合計画に掲げる各施策を着実に推進するため「**持続可能な未来につながる有田市**」を基本方針に予算編成に取り組むものとする。

予算編成にあたっては、各所属がそれぞれの使命を明確に認識し、組織全体が経営感覚を持ち、スピーディーで的確な政策判断ができるよう心掛け、所属長の権限と責任のもとマネジメント機能を発揮されたい。また、マイナスシーリング分を従来の施策の拡充及び新施策へ反映させることを徹底し、市民に寄り添うべき施策とすることを優先事項とするので、予算編成期間を通して今一度、議論並びに熟考したうえで、主体的に事業の見直しに臨まれたい。

これらを踏まえ、各所属においては、事業の効果的・効率的な推進を図るよう、第5次長期総合計画の体系に基づき、次に示す施策を重点として予算要求を行うこと。

《第5次長期総合計画に基づいた重点施策》

＜健やかにいきいきとした生活を実現できるまち＞

- ・ 妊娠から出産、子育て期まで切れ目のない支援及び地域で分娩ができる産婦人科診療所支援など少子化対策の強化
- ・ 子育て支援施設の充実に繋がる認定こども園への取組
- ・ 新市立病院建設事業の推進及び地域医療の充実

＜心豊かな人を育み 地域で支え合うまち＞

- ・ 女性活躍の場の創出や子育てサポートの充実
- ・ キャリア教育や海外との交流による人材育成の推進
- ・ 誰もが分け隔てなく暮らせる「Well-being」なまちづくりの推進

＜つながりが生む魅力あるまち＞

- ・ 和歌山製油所エリアの跡地利用と未来ビジョンへの取組
- ・ 漁業の魅力と活力を生み出す未来への投資
- ・ 誇りあるみかん産地を次世代に残すためのチャレンジ
- ・ G X（グリーントランスフォーメーション）に資する新たな企業誘致
- ・ まちの魅力発信及び観光振興につながる取組の推進

＜安全・安心で調和のとれたまち＞

- ・ 浸水被害ゼロをめざす内水浸水対策の推進
- ・ 災害に備えた安心安全な環境整備の強化
- ・ 未来につながる公共施設跡活用の推進
- ・ 有田川の輝きを取り戻す環境整備及び景観保全への取組の強化

＜協働を図り未来への投資と責任ある行財政運営による持続可能なまち＞

- ・ 市民サービスの向上と業務効率化に向けたD Xの推進
- ・ 国県の補助金等の積極的な活用
- ・ ふるさと応援寄付を通して有田市ファンを広げる取組の強化